

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	1	1	1	地域福祉	地域福祉の充実
実施計画事業名					
社会福祉協議会補助事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業	
担当課・係等					
社会福祉課地域福祉係					

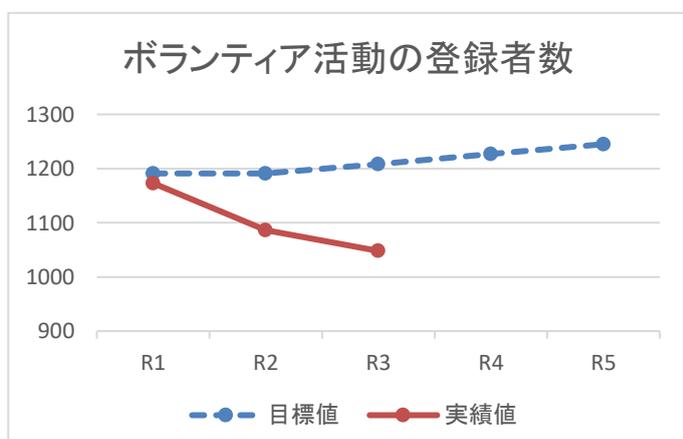
実施計画整理番号	
201010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市社会福祉協議会の経営基盤の強化を図り地域福祉を推進するとともに、福祉団体を支援して民間福祉活動を推進する。	茂原市社会福祉協議会に補助金を交付する。また、茂原市社会福祉協議会を通じて民間福祉団体に助成金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	社会福祉法において地域福祉の中核的団体に位置付けられている社会福祉協議会に補助金を交付し、運営、福祉サービス事業、地域福祉活動推進事業を支援することで、地域福祉の推進を図り、ひいては施策「地域福祉の充実」に寄与する。	

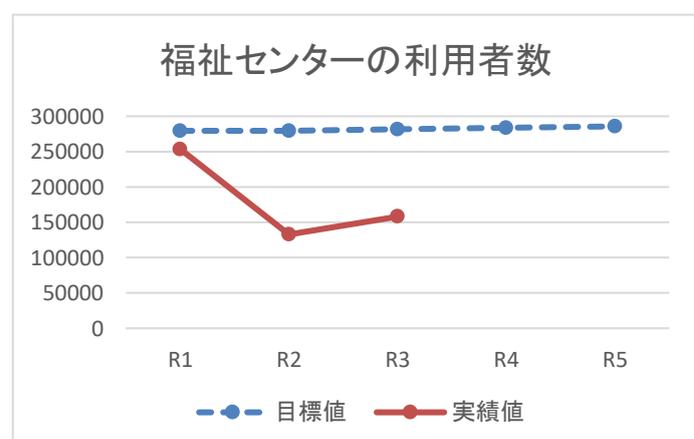
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	91,969	91,969	89,935	91,924					
	国補助	千円									
	県補助	千円	943	943	852	943					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	91,026	91,026	89,083	90,981					
	人工数	人		0.35							
	人件費	千円		2,648							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
地域共生社会を推進するため、市民のボランティア事業に対する理解と関心を深め、ボランティア活動を推進する。	ボランティア活動の登録者数	人	目標値	1,191	1,208	1,227	1,245
			実績値	1,086	1,048		
	目標値						
	実績値						
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
福祉センターを地域福祉の拠点として各種福祉活動を実践する。	福祉センターの利用者数	人	目標値	279,450	281,520	283,590	285,660
			実績値	132,764	158,025		
	目標値						
	実績値						

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	1	1	1	社会福祉協議会補助事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	03	社会福祉協議会補助事業

整理番号
201010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会に対して補助金を交付して、社会福祉協議会の運営、福祉サービス事業(企画普及事業、相談事業、ボランティアセンター運営事業、在宅福祉サービス事業、後見支援センター事業)、地域福祉活動推進事業(福祉団体助成事業、老人福祉事業、地区社協事業)を支援することで、地域福祉の推進を図った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・茂原市社会福祉協議会を支援することで、地域福祉の基盤強化、地域福祉の推進、各福祉団体の育成が図られるものであり、一定の成果があったものと認められる。 ・社会福祉協議会職員のベースアップ等による人件費増加に伴い、補助金額が年々増加傾向にある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の福祉活動に制限が生じた。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市と社会福祉協議会は相互に連携を取り地域福祉を推進するものであるため、効率的に福祉事業が実施できるよう、事業を実施する過程において、互いに事業内容を精査し、必要に応じて修正するなどし、事業に取り組んでいく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>社会福祉協議会の経営基盤を強化することは、地域福祉の推進に一定の成果を挙げていると認められる。新型コロナウイルス感染症の影響により福祉活動の制限が余儀なくされる中だが、より効率的・効果的な事業を研究しながら地域福祉の推進に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
母子保健事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	04	母子保健事業	
担当課・係等					
健康管理課保健センター					

実施計画整理番号	
202010101	
総合戦略整理番号	21101

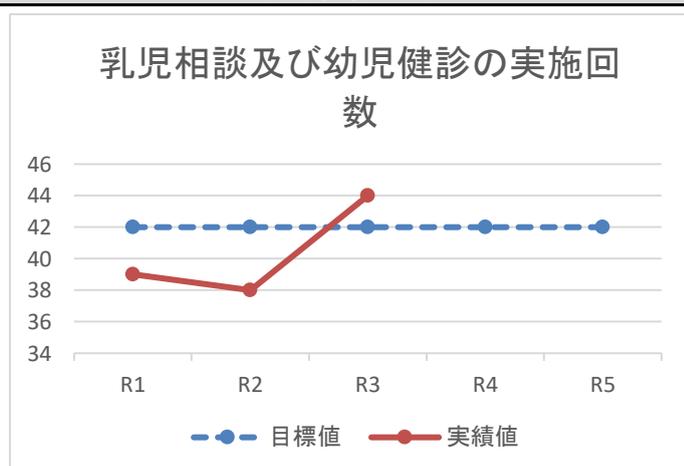
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	妊産婦、新生児、乳幼児とその保護者に対し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを行い、子どもの健やかな成長・発達への支援と育児不安の軽減に努め、子どもの健全な心と体の育成を目指す。	妊娠中からの相談体制を確立し、育児不安の軽減に努めるとともに、父親の育児への積極的な参加を促す。また、児童虐待防止と児童の健やかな成長のため、各種健診、家庭訪問、教育・相談事業を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

未来を担う子どもたちの健全な心と体の育成に向けて、各種健診、家庭訪問、教育・相談事業を実施することは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

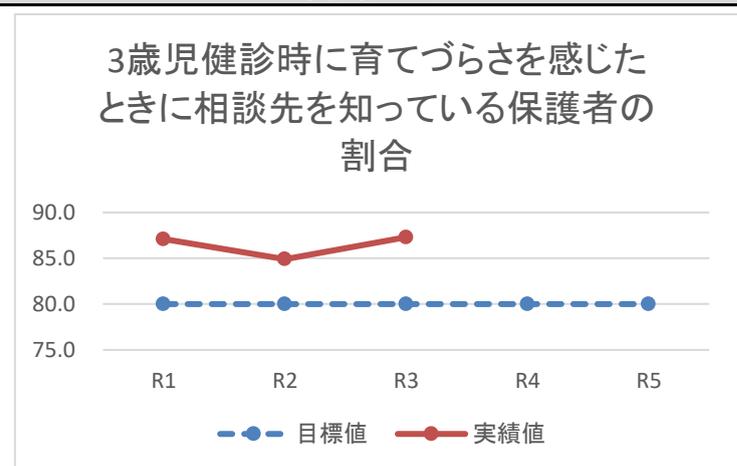
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	76,343	84,901	75,778	76,170					
	国補助	千円	2,545	8,353	6,879	2,875					
	県補助	千円	1,659	4,176	3,399	1,825					
	市債	千円									
	その他	千円	813	813	516	800					
	一般財源	千円	71,326	71,559	64,984	70,670					
	人工数	人	8.4								
	人件費	千円	46,995								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
妊娠届出時から担当保健師を案内し、相談しやすい体制を整え、妊婦・乳児一般健康診査及び赤ちゃん訪問、乳児相談、各種幼児健診等を実施し、必要に応じて電話や訪問等でも相談対応を行い、子どもの健やかな成長を支援する。	乳児相談及び幼児健診実施回数	回	目標値 42	42	42	42
			実績値 38	44		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		%	目標値 80.0	80.0	80.0	80.0
			実績値 84.9	87.3		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	母子保健事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時面接:431件 ・妊婦健康診査:4,947件 ・乳児健康診査:764件 ・ママ・パパ教室:199人 ・乳児家庭全戸訪問数:403件(96.6%) ・乳児相談数:367人(88.0%) ・1歳6か月健診受診者数:515人(96.3%) ・3歳児健診受診者数:570人(95.2%) 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A:必要性が高い	A:有効性が高い	B:効率性が認められる
総合評価		
A:十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時の面接は、助産師あるいは保健師が全数面接し、必要に応じて電話や訪問で安心して出産や子育てができるように支援することができた。 ・ママ・パパ教室では、感染症対策として定員を減らして開催したことで、希望しても参加できない状態だったため、個別対応や別日程を設定して対応した。また、1月以降の第6波では、乳幼児の感染者数が多く、急ぎよ動画配信等を活用して、時間を短縮して開催する等の対応を行った。 ・各種幼児健診については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、風邪症状などがある場合には受診を控えるようにしたこと、定員を減らして実施したこと等の理由により、受診率が低下している。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収束の見込みがなく、ママ・パパ教室や乳児相談については、感染状況によって開催方法をパターン化して準備し、柔軟に対応できるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種幼児健診を受診できない場合でも、安心して子育てができるように電話や訪問等で対応し、必要に応じて医療機関の受診や専門機関等の紹介等を実施する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A:計画どおり事業継続が適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当 <p>各種幼児健診の実施及び訪問や相談の実施により、安心して子育てができる環境に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き切れ間ない支援を行っていただくと同時に、コロナ禍での活動のあり方の検討に努められたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
特定不妊治療費等助成事業					

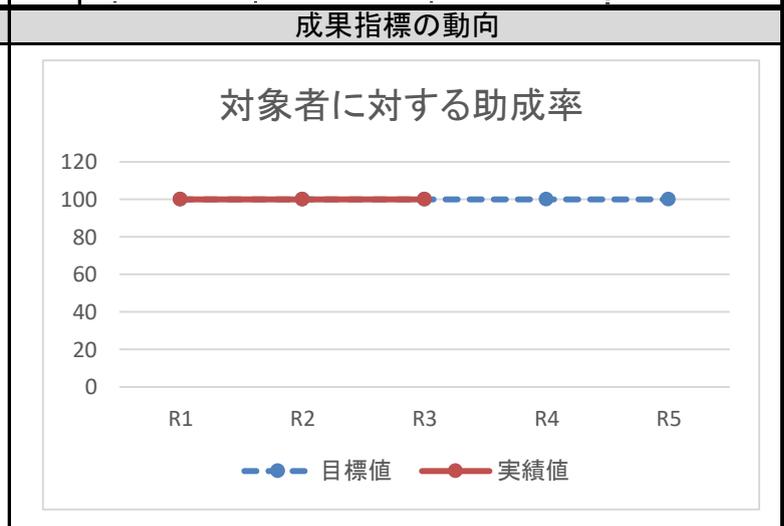
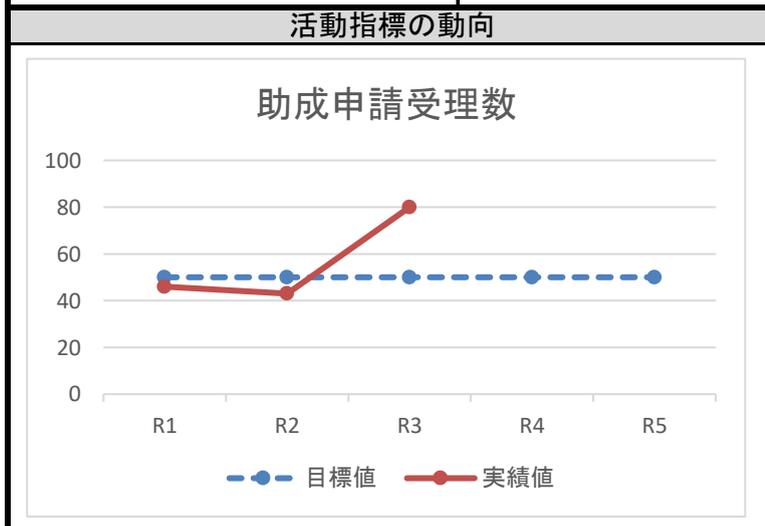
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	04	母子保健事業	
担当課・係等					
健康管理課予防保健係					

実施計画整理番号	
202010102	
総合戦略 整理番号	21102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもができない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより、当該夫婦の経済的負担を軽減する。</p>	<p>千葉県特定不妊治療費助成事業対象者に対し、市独自で上乗せ助成、及び男性不妊治療費に対する助成を行う。また、男性不妊検査費に対する助成を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>不妊治療を行う夫婦の経済的な負担を軽減することで、出生数の増加につなげ、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,120	5,116	5,116	3,120					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,120	5,116	5,116	3,120					
	人工数	人		1.1							
	人件費	千円		3,405							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
不妊治療を行った夫婦が必ず申請ができるよう、県への周知依頼及び広報、市公式ウェブサイトでの周知を実施する。	助成申請受理数	件	目標値	50	50	50	50
			実績値	43	80		
	広報・ウェブサイト等による周知件数	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
対象者に対する助成率を高い水準にすることにより、費用負担の軽減を図る。	対象者に対する助成率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	特定不妊治療費等助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ①特定不妊治療費助成:74件
- ②男性不妊治療費助成(精巣内精子改修術等)助成決定件数:0件
- ③男性不妊検査費助成:6件
- ④広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生保健所(長生健康福祉センター)にチラシを設置した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A:必要性が高い	A:有効性が高い	A:効率性が高い

総合評価
A:十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることの無いよう、引き続き制度の周知を行う。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A:計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。

企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A:計画どおり事業継続が適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当</p>	<p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">申請受理数が昨年度より増加しているが、すべての申請に対して助成を行うことができおり、不妊治療の増進に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、不妊治療費助成に関する切れ間ない周知と助成に努められたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
産前産後サポート事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	04	母子保健事業	
担当課・係等					
健康管理課保健センター					

実施計画整理番号	
202010103	
総合戦略整理番号	21103 22201

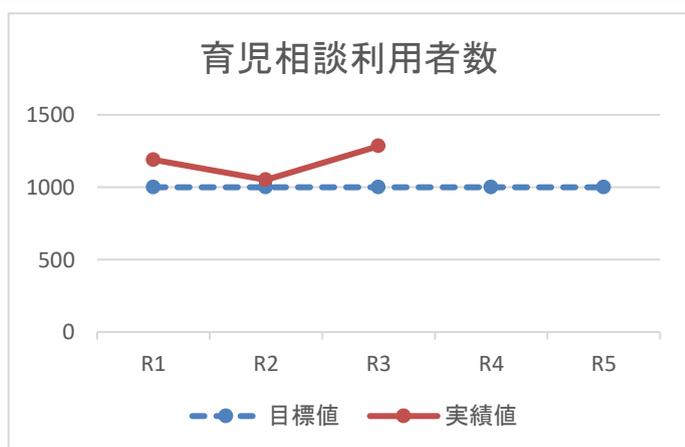
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	妊娠を望む夫婦から子育て家庭を対象に、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩み等について助産師等の専門職が切れ目なく相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立化を予防する。	保健センター内に設置した、産前産後サポートセンターを中心として、妊娠届出時に助産師等が全数面接し、産前産後のケアプランを作成する。また産後に家族等の支援が得られない産婦に対し、産後ケア事業を行い、不安のある妊産婦についてはまものわ等の事業を通じて妊産婦同士が交流したり、気軽に専門職に相談できる機会を提供し、安心して子育てができるよう支援していく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

妊娠期から子育て期にかけて、切れ目なく相談支援ができる体制を整えることで、安心して子育てができるよう支援することは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

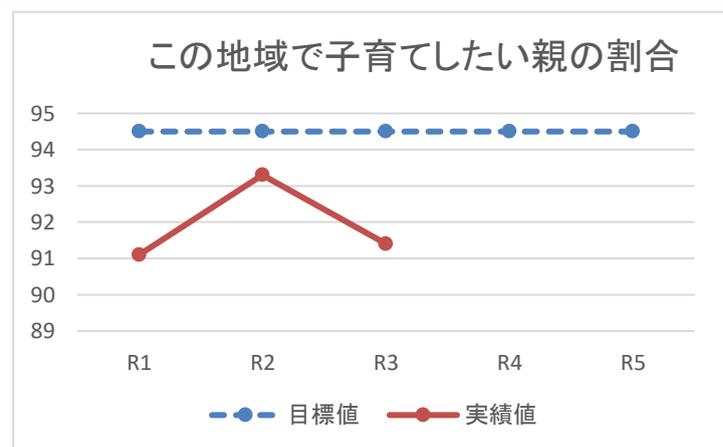
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,354	7,228	4,441	4,146					
	国補助	千円	2,121	2,121	2,155	2,073					
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,233	5,107	2,286	2,073					
	人工数	人		4.3							
	人件費	千円		22,128							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
妊娠届出時に助産師等が面接し、産前産後ケアプランを作成し、産後ケア事業や産前産後サポート事業等を実施し、就学前までの子育て期までを切れ目なく、安心して子育てができるよう支援していく。	育児相談利用者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,051	1,284		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
			目標値	94.5	94.5	94.5	94.5
妊娠期から子育て期まで、安心して相談できる体制をつくることで、子育て家庭がこの地域に定住し、人口減少を抑えることができる。	すこやか親子21のアンケート調査(6か月乳児相談時)で「この地域で今後も子育てをしたい」と回答した親の割合が94.5%以上	%	実績値	93.3	91.4		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	産前産後サポート事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010103

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時の助産師等面接 431名 ・産前産後サポート訪問 実49人、延118人 ・産後ケア事業 宿泊型 実4人、延22人 日帰り型 実6人 延13人 訪問型 実13人 延55人 ・ままのわ・ままのわミニセミナー 166人(オンラインセミナーも含む) ・助産師相談 60人 ・育児相談(計測含む) 1,284人 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業宿泊型、日帰り型については、新型コロナウイルス感染症の影響で、委託産科医療機関の受入れに制限があり、希望通りに利用することができなかった。 ・訪問型は、自宅に訪問するため、利用制限はないが、休養を希望している場合は対応困難なため、対策が必要になる。 ・ままのわについては、感染症対策の一環として、定員を減らし、交流も最小限に抑えていたため、十分な孤立化予防ができたとはいいがたい。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業の委託産科医療機関の受入れ制限については、当面の解決は困難であるが、関係機関との綿密な連携を図っていく。 ・訪問型は、産後1年までの利用が可能のため、広報やSNS等により更なる利用促進の周知に努める。 ・ままのわ等の定員を制限している事業について、他自治体での孤立化予防の工夫について調査・研究に努めたい。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 新型コロナウイルス感染症の影響により制限を設けながらも、相談、サポート体制を整えており、利用者数については増加していることから、安心して子育てをする支援に一定の成果を挙げたと認められる。今後は、コロナ禍での制限により十分な支援を受けられない人が出ないように、新たな体制のあり方の検討に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
乳幼児家庭支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

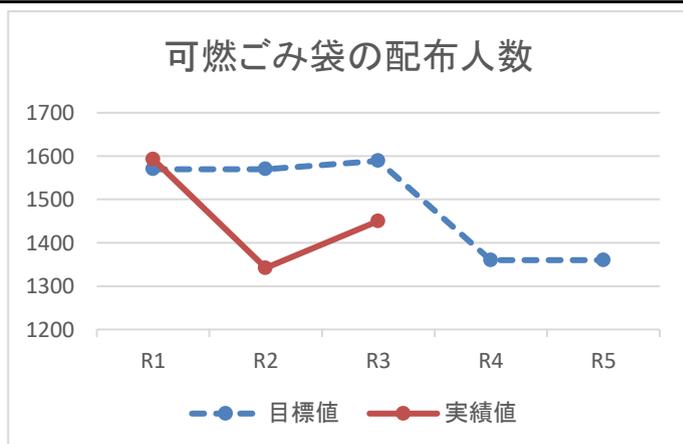
実施計画整理番号	
202010104	
総合戦略整理番号	22302

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	子育て支援策として、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを育てやすい環境を整備する。	市内在住の0～3歳未満の子どもを有する子育て世帯に対し、おむつ廃棄用に可燃用ごみ袋を年間50枚無償で配布する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
おむつ廃棄用の可燃用ごみ袋を配付することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。		

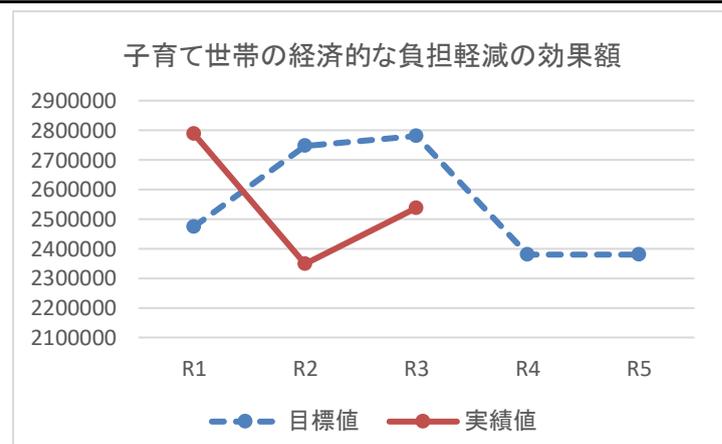
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,438	2,438	2,230	2,438					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,438	2,438	2,230	2,438					
	人工数	人		0.3							
	人件費	千円		2,269							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
出生届時、1歳6か月健診時、2歳児歯科健診時の機会を活用し、可燃ごみ袋を配付する。	可燃ごみ袋の配布人数	人	目標値 1,570	1,589	1,360	1,360
		実績値 1,342	1,450			
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
おむつの処理に必要なもえるごみ専用袋を配付することで、子育て世帯の負担を軽減できたものと認識している。	子育て世帯の経済的な負担軽減の効果額	円	目標値 2,747,500	2,780,750	2,380,000	2,380,000
		実績値 2,348,500	2,537,500			
		目標値				
		実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	乳幼児家庭支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	09	乳幼児家庭支援事業

整理番号
202010104

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届時、1歳6か月健診時、2歳児歯科健診時にもえるごみ専用袋50枚を配付する。 ・各種の届出時等の既存業務に付随し配付することで効率的に事業を実施できた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつの処理に必要なもえるごみ専用袋を配付することで、子育て世帯の負担を軽減できたものと認識している。 ・袋は20ℓのものを配付しているが、サイズや配付枚数について、検討する必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育て世代の経済的負担の軽減については効果があるため、引き続き事業を進めていく。 ・サイズや配付枚数については、利用者ニーズを的確に把握し検討する必要がある。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>子育て世代の経済的負担を軽減し子どもを育てやすい環境の整備に資する事業と認められる。引き続き、利用者ニーズに沿った事業実施に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
おめでとう赤ちゃんセット配布事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010105	
総合戦略整理番号	22303

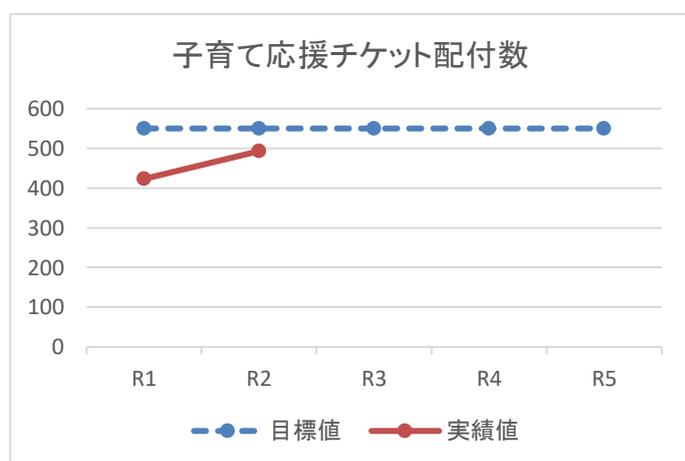
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>出生届を提出した世帯に対し、「おめでとう赤ちゃんセット(①子育て応援チケット②モバリントートバッグ③モバリンタオル④モバリンコップ)」を配付し、出生をお祝いするとともに子育て世帯の経済的負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> おめでとう赤ちゃんセットの配付 子育て応援チケット協賛店の拡大 応援チケットの利用促進
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

「おめでとう赤ちゃんセット」を配付することで子育て世帯の経済的負担を軽減することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。

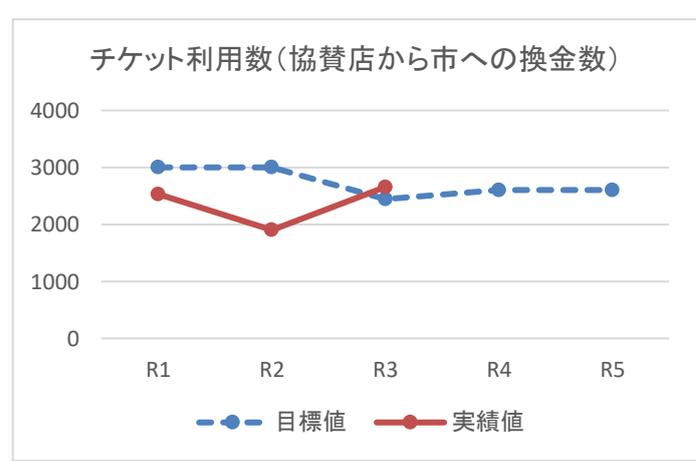
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,020	3,246	3,239	2,543					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,020	3,246	3,239	2,543					
	人工数	人		0.3							
	人件費	千円		2,269							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
出生届時等に「おめでとう赤ちゃんセット」を配付する。	子育て応援チケット配付数	部	目標値	550	550	550	550
			実績値	493	423		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
配付したチケットを市内の登録店舗で使用することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	チケット利用数(協賛店から市への換金数)	枚	目標値	3,000	2,443	2,601	2,601
			実績値	1,990	2,669		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	11	おめでとう赤ちゃんセット配布事業

整理番号
202010105

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届の届出時を利用したおめでとう赤ちゃんセットを423部配付した。 ・子育て応援チケット協賛店として、令和3年度は1店舗の登録があり、合計82店舗となった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<h3 style="margin: 0;">A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</h3>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・出生届の届出時を利用したことで、効率的な配付を行うことができた。 ・利用者の利便性向上のため、更なる応援チケット協賛店の増加が必要である。 ・利用されなかった応援チケットがあるため、応援チケットの利用率を上げる必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・配付については、現在の方法を継続する。 ・応援チケット協賛店への参加を随時依頼していく。 ・利用率向上のため、応援チケットの利用期間の延長を検討するとともに、より効果的な周知を実施する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減する事業と認められる。引き続き、利用者ニーズを的確に捉えることでより効果的な支援の実施に努めていただく一方で、SNS等を活用した周知手法によりチケットの利用率向上やより利便性の高い利用方法について検討いただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
ファミリーサポートセンター事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

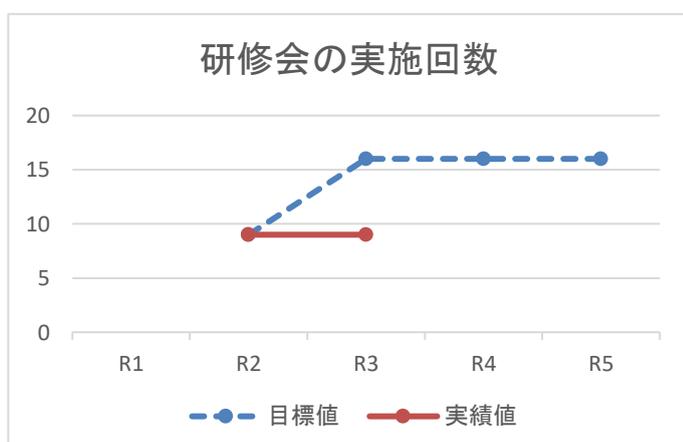
実施計画整理番号	
202010106	
総合戦略整理番号	22304

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	地域社会において、子育てに関し援助を受けたい方(依頼会員)と援助を行いたい方(提供会員)との橋渡しを行い、地域全体で子育てを支え合うようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる周知・広報を行い、会員確保に努める。 ・入会説明会・基礎研修会の実施。 ・利用料の助成。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	ファミリー・サポート・センター事業を行うことで、地域全体で子育てを多面的に見守る体制づくりに努め、ひいては、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

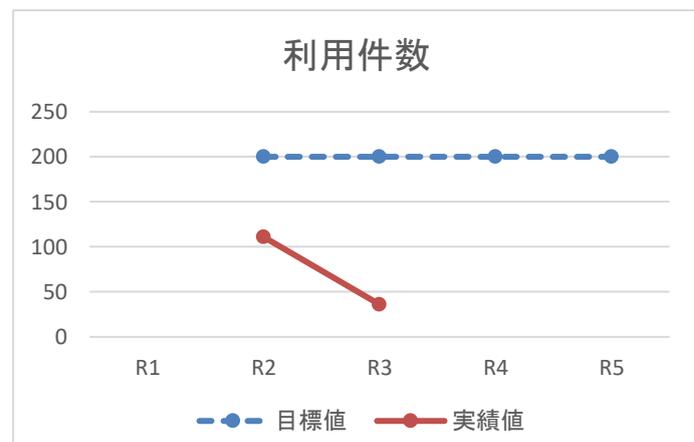
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	4,130	4,130	3,384	4,130					
	国補助	千円	1,066	1,000	1,000	1,000					
	県補助	千円	1,066	1,000	1,000	1,000					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,998	2,130	1,384	2,130					
	人工数	人		0.5							
	人件費	千円		3,782							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
更なる事業の周知、説明会等の実施により会員の増加及び体制を強化する。	入会説明会、基礎研修会の実施	回	目標値 9	16	16	16
		実績値 9	9			
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
会員数の増加によるマッチング件数の増加により、地域全体で子育てを支え合うようにする。	利用回数	人	目標値 200	200	200	200
		実績値 111	36			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	ファミリーサポートセンター事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	ファミリーサポートセンター事業

整理番号
202010106

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・茂原市社会福祉協議会に事業を委託して実施することで、社会福祉協議会の既存のネットワークを活用でき、効率的に事業が実施できた。
- ・入会説明会及び基礎研修会を9回実施した。
- ・令和3年度末で、登録会員は提供会員86名、依頼会員30名、両方会員2名であり、利用件数は36件であった。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・入会説明会や基礎研修会が新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送ったケースがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で行う預かり等が行えないなど、マッチング件数が伸びなかった。
- ・ファミリー・サポート・センターの開設以降、災害や新型コロナウイルス感染症の影響により1年間を通じての活動が非常に困難である。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・新型コロナウイルス感染症の終息後に備えて効果的な周知を図り、会員増加とマッチング件数の増加を図る。

企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>地域全体で子育てを見守る体制づくりに資する事業と認められる。一方で、地域性や新型コロナウイルス感染症などの社会的要因に利用率が左右されると判断できる。今後は、より効果的な事業内容の周知を検討するとともに地域全体で子育てする意識の醸成を図ることで会員数及び利用率向上に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
子ども医療費助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	12	子ども医療費助成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

実施計画整理番号	
202010107	
総合戦略整理番号	22305

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資する。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 出生や転入時及び例年8月の一斉更新時に正確で迅速な助成を行うとともに、必要に応じて制度について対象となる住民への周知を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市内在住の中学3年生までの子ども医療費(保険診療分)を助成し、安心して子育てができる環境の形成に資することができ、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	247,013	243,125	229,416	244,544					
	国補助	千円									
	県補助	千円	70,858	70,858	69,057	70,479					
	市債	千円									
	その他	千円	21,568	21,568	22,408	21,568					
	一般財源	千円	154,587	150,699	137,951	152,497					
	人工数	人		0.5							
	人件費	千円		3,782							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・出生時や転入時等に子ども医療費助成について周知する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
医療費の償還払い請求に対する支給事務、審査支払機関への支出を適正に行うことで、市民が安心して子育てができるようにする。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	子ども医療費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	12	子ども医療費助成事業

整理番号
202010107

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費助成制度における新規申請等の処理、8月の更新作業等の受給券発行について、適切に処理を行った。 国保連及び社会保険診療報酬支払基金等への支払いのほか、過誤分について適切に処理を行った。 令和3年4月からの開始するひとり親家庭等医療費等助成制の現物給付化にともない、受給券の発行について調整を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費助成受給券を交付することで、医療機関等での窓口負担が軽減され、経済的な支援をおこなうことができた。 医療費助成申請時及び8月の一斉更新時に住民税の未申告者がいると発行、更新ができないため、申告を勧奨するなどの対応が課題となっている。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 未申告により、受給券が発行できていない方については、市民税課と協力し把握に努め、申告勧奨し受給券を発行する。 子ども医療費助成とひとり親家庭等医療費等助成の期間が異なることから、受給者が不利にならないように調整を図る。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	安心して子育てができる環境に資する事業と認められる。引き続き、適正な事業実施に努めるとともに、より効果的・効率的な周知を図っていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
子育て支援事業					

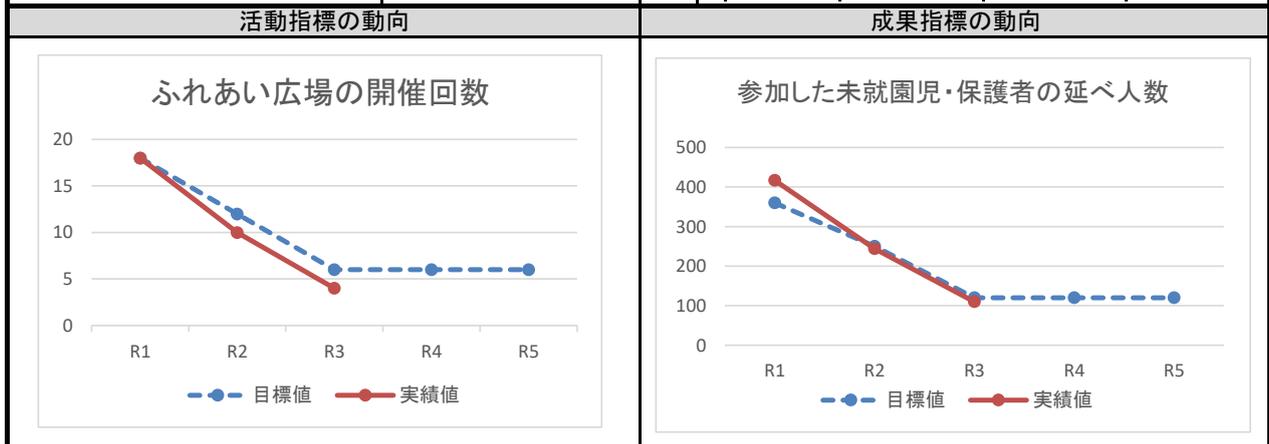
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	04	01	06	子育て支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

実施計画整理番号	
202010108	
総合戦略 整理番号	22202

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスを軽減させ、家庭教育を充実させる。</p>	<p>地域における子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりを推進する。</p>
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>開かれた幼稚園づくりを推進することで、幼児期の子どもを持つ保護者の子育てに関する悩みやストレスの軽減を図り、ひいては施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度			
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
	事業費	千円	80	80	80	80						
財源内訳	国補助	千円										
	県補助	千円										
	市債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	80	80	80	80						
人工数	人		—									
人件費	千円		—									

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
開かれた幼稚園づくりを推進する。	ふれあい広場の開催回数	回	12	6	6	6
		実績値	10	4		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			人	250	120	120
未就園児及び保護者のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することで子育てに関する悩みやストレスが軽減されることを目指す。	参加した未就園児・保護者の延べ人数	人	実績値	110		
			244			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	子育て支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	01	06	子育て支援事業

整理番号
202010108

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・公立幼稚園において遊具やおもちゃで遊んだり、「わらべ歌」「絵本の読み聞かせ」「人形劇」などを実施した。</p> <p>・公立幼稚園において、未就園児のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することができた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
未就園児及び保護者のための交流の場の提供と家庭教育に関する悩みの解消に一定の成果があったと思われる。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、家庭教育の充実に努めるとともに、効果的な周知を図る。	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	公立幼稚園における未就園児のための遊び場や保護者同士の交流の場を提供することで、子育てに関する悩みやストレスの軽減に一定の成果があったと認められる。引き続き、場の提供を絶やすことの無いよう努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	1	1	子育て支援	総合的な子育て支援の充実
実施計画事業名					
オンラインカウンセリング支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
4	01	03	04	母子保健事業	
担当課・係等					
健康管理課保健センター					

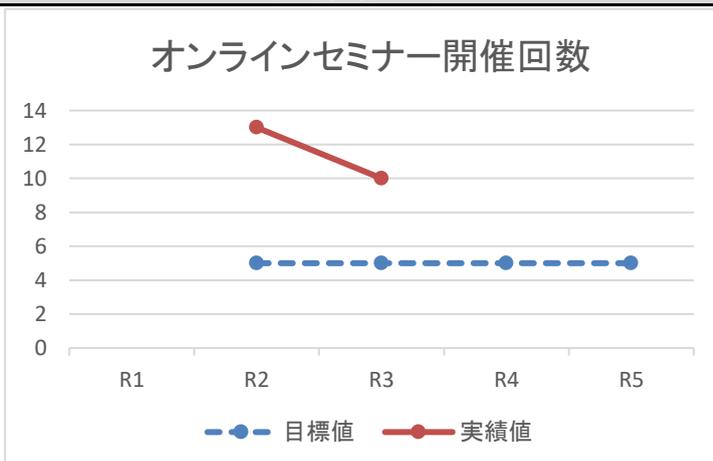
実施計画整理番号	
202010109	
総合戦略整理番号	22203

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	感染症拡大や大きな災害等により、保健センターで開催する各種教室や相談等が実施困難あるいは来所が困難になったときに、オンライン会議アプリケーション等を利用して、自宅等でインターネットを通して映像、音声により、お互いの顔を見ながら、また資料などについても画面で共有しながら受講及び相談ができるので、妊娠・出産のみならず健康に関する不安を解消することができる。	保健センター内でオンライン会議アプリケーション等を利用して、ママ・パパ教室等の教室を開催したり、助産師等の専門職の相談を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	感染症の蔓延あるいは大きな災害時でも、オンライン会議アプリケーション等を利用して、セミナーの受講や専門職に相談することで、不安を解消し、安心して妊娠期から子育て期を過ごすことができることは、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。	

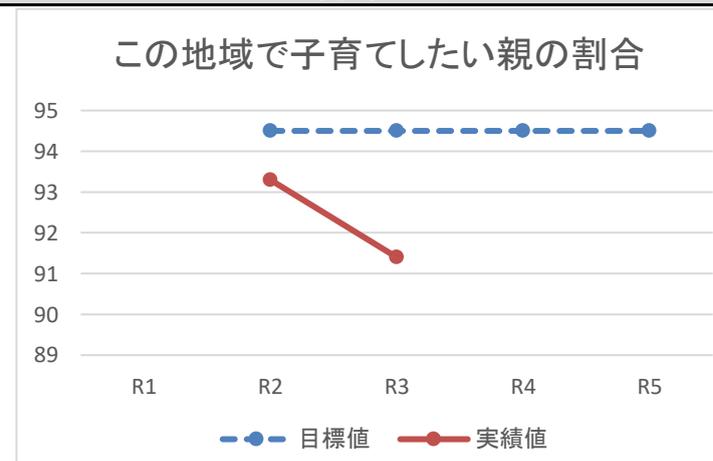
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	184	184	170	184					
	国補助	千円			91						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	184	184	79	184					
	人工数	人		0.8							
	人件費	千円		6,050							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
保健センター内でオンライン会議アプリケーション等を利用することで、感染症が蔓延している期間であっても、ままのわ・ままのわミニセミナーの開催や助産師等の専門職の相談を行い、妊娠・出産・子育てができるように支援する。	オンラインセミナー開催回数	回	目標値 5	5	5	5
			実績値 13	10		
成果	成果指標	%	目標値 94.5	94.5	94.5	94.5
			実績値 93.3	91.4		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	1	1	オンラインカウンセリング支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	03	04	母子保健事業

整理番号
202010109

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>【オンラインセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン離乳食セミナー 8回開催、32名参加 ・オンラインままのわミニセミナー卒乳編 1回開催、5名参加 ・ままのわミニセミナー小児救急編(ハイブリッド開催) 1回開催 オンライン10名参加 ・オンラインままのわミニセミナー災害編 1回開催 9名参加 <p>【オンライン相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン助産師相談 3回 3名 <p>【動画配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ・パパ教室動画配信併用 3回開催 71名参加 ・モーバとラッシーのハッピータイム 10本 <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ママ・パパ教室、ままのわ・ままのわミニセミナー、乳児相談については、定員を減らし、時間も短縮するため内容を変更して開催している。そのため、動画の配信やオンライン開催をすることで、より多くの妊産婦をはじめパートナーに必要な情報を提供し、安心して妊娠期から出産、子育てができるように努めた。参加者からも感染のリスクがなく受講することができたと好評を得ている。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催は、感染リスクがないだけでなく、子連れで会場まで出向く必要がないために、気軽に参加することができるメリットがある。 ・実技のある内容をハイブリッド開催で実施する場合、オンライン参加の方にどのように実技を体験していただくかが課題。 ・配信のリハーサルをしていても当日トラブルが起こるので、スタッフは多めに配置が必要。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド開催時のオンライン参加者の実技については、他市の状況など情報収集して体験できるものを検討したい。 ・当日のトラブル対応については、想定されるトラブルの対処方法について、当日のスタッフ間でも共有し、トラブル対応職員も配置するようにする。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>コロナ禍での新たなセミナーの形として、相談、不安解消の機会の獲得に一定の成果を挙げていると認められる。実技形式等に関してもオンラインでわかりやすく行える工夫を検討し、さらなる受講者の増加に努められたい。</p>	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
病児・病後児保育事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	05	病児・病後児保育事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

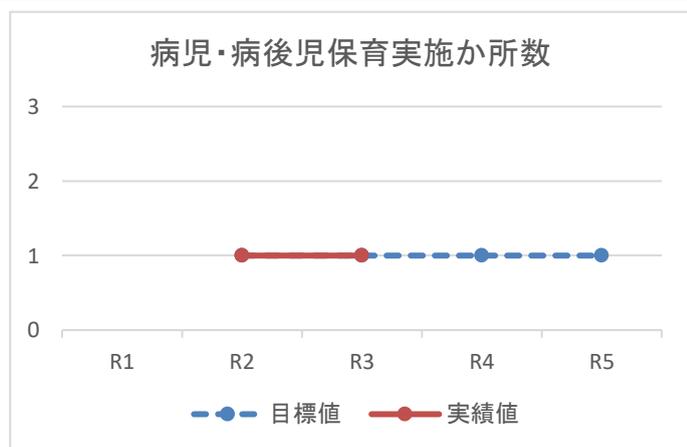
実施計画整理番号	
202020101	
総合戦略整理番号	22306

事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
<p>病児回復期に至らないが当面の症状の急変が認められない児童及び病児回復期にある児童で、保育所・幼稚園等での集団生活が困難な市内に居住する生後6か月から小学校3年生までの児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで、子育てにおける負担を軽減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の安定的な実施のため、適正に業務委託を実施する。 ・利用促進を図るため、制度の周知に努める。 ・利用者の更なる利便性向上のため、市内での事業実施を検討する。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>児童を保護者が就労や傷病等で保育することが困難な場合に、医療機関に併設した専用保育施設で一時預かることで保護者の就労等の支援を図り、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与する。</p>	

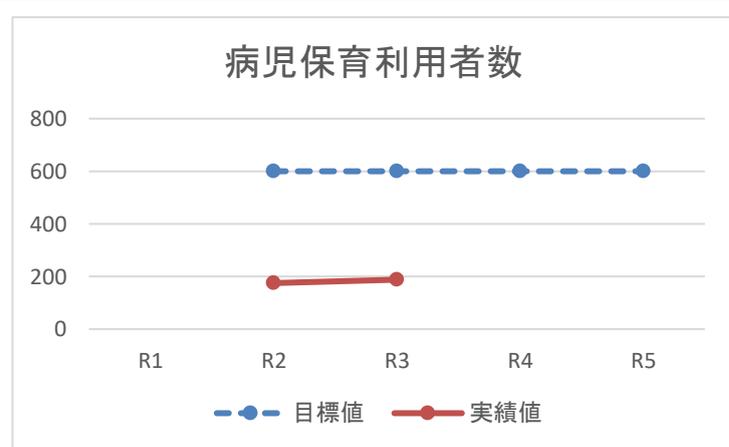
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,069	3,069	3,069	3,069					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,069	3,069	3,069	3,069					
	人工数	人		0.3							
	人件費	千円		2,269							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>・事業について近隣町村と協定を締結した。</p> <p>・白子町酒井医院での病児保育事業を支援するとともに、制度周知及び利便性向上に努める。</p>	病児・病後児保育施設数	か所	目標値 1	1	1	1
			実績値 1	1		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
事業実施により子育てにおける負担を軽減させる。	利用者数	人	目標値 600	600	600	600
			実績値 175	188		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	1	病児・病後児保育事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	05	病児・病後児保育事業

整理番号
202020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・白子町の酒井医院にて、令和2年度から茂原市、白子町、一宮町、長生村の4市町村で委託料の負担割合について、協定を締結し実施した。 ・事業に関する周知については、もばらで子育てガイドブックや学童クラブ利用案内等により行った。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・委託料の負担割合について協定を締結したことで、利用料の軽減が図れた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数は大幅に減少していると思われる。 ・市内での事業実施を検討する場合、実施する場所の整備、従事する医師、看護師、保育士の確保が課題となっている。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・市内での事業実施の場合の実施方法についても、茂原市での単独の実施ではなく広域的に実施する方向を検討していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>保護者の就労等の支援を図る事業と認められる。引き続き、利用者の利便性向上を図るとともに、利用希望者が知らないことのないよう、より効果的な周知に努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
認可外保育所運営支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号
202020102
総合戦略 整理番号

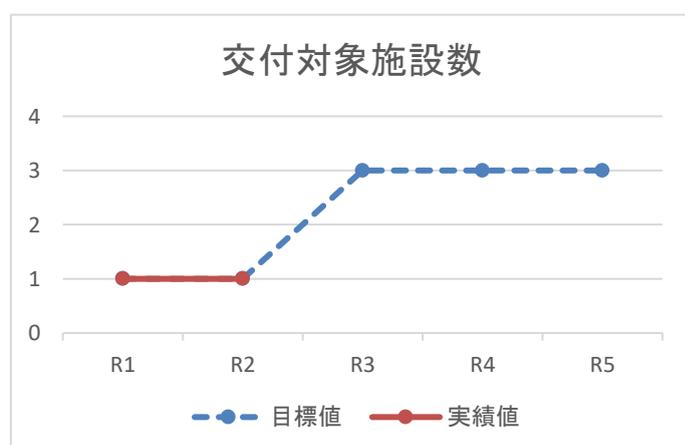
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	認可外保育施設の健全な運営を促進し、入所児童の処遇の向上を図る。	認可外保育施設設置者に対し、その入所児童の健康診断に要する経費の一部について補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

入所児童の健康診断を支援し、認可外保育施設の健全な運営を促進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。

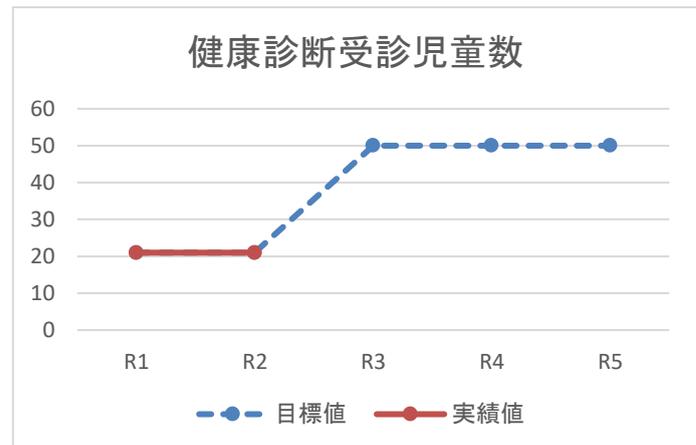
投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	96	288	242	288				
国補助		千円									
県補助		千円	32	96	51	96					
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	64	192	191	192					
	人工数	人		0.1							
	人件費	千円		756							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
認可外保育施設に対し、入所児童の健康診断に要した費用について、96,000円を上限として補助金を交付する。	交付対象施設数	件	目標値 1	3	3	3	
		実績値 1	3				
	成果	成果指標	単位	目標値 21	50	50	50
			実績値 21	34			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	1	認可外保育所運営支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

認可外保育施設に対して、入所児童の健康診断等に要した費用について、補助金を交付した(認可外保育施設入所児童処遇向上事業補助金)。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B:必要性が認められる	B:有効性が認められる	B:効率性が認められる

総合評価

B:ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・認可外保育施設に通所する児童の処遇の向上が図られたものと考えられる。
- ・交付対象となる認可外保育施設を確実に把握する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

県の施設監査時や予算要求時に、条件となる「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の交付を受けた施設が増えていないか等、対象となる施設の把握に努める。

企画政策課の評価	評価理由
A A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検 討が必要 D:事業終了が適当	認可外保育施設の入所児童の処遇改善に資する事業と認められる。引き続き、対象施設を確実に把握し、すべての子どもの処遇改善及び施設の健全な育成を図っていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
民間認定こども園整備助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	04	02	民間認定こども園整備助成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども政策係					

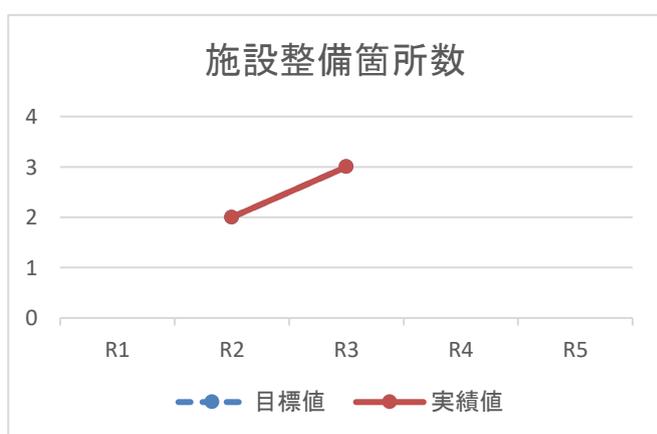
実施計画整理番号	
202020103	
総合戦略整理番号	22205

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 「公立保育所・幼稚園整備計画」に基づき、施設の安全・安心を確保しつつ、すべての子どもに質の良い教育・保育を提供するため、民間移管による幼保連携型認定こども園の整備を目指す。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 運営事業者に対して、国県の交付金を活用して建設費の補助を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	幼保連携型認定こども園の整備により、施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。	

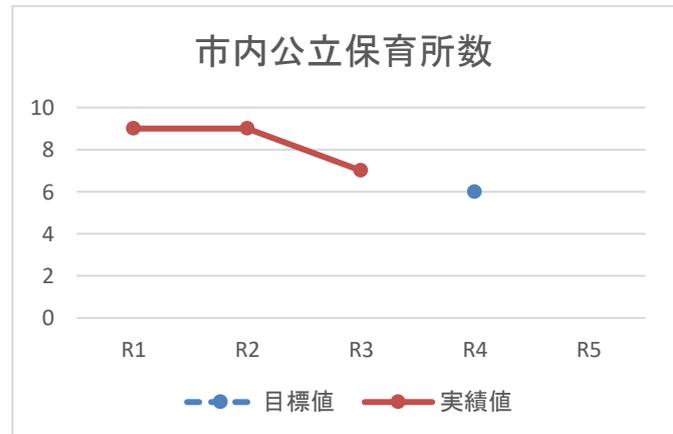
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	317,824	327,387	326,403						
	国補助	千円	135,960	185,809	185,158						
	県補助	千円	75,922	77,256	77,253						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	105,942	64,322	63,992						
	人工数	人		—							
	人件費	千円		—							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
運営事業者に対して、国県の交付金を活用して建設費の補助を行う。	施設整備箇所数	箇所	目標値	2	3	—	—	
			実績値	2	3			
				目標値				
				実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
民間活力を活用し、施設の安全・安心を確保することで、すべての子どもに質の良い教育・保育が提供されるとともに老朽化が進む公立保育所の統廃合が図られる。	市内公立保育所数	か所	目標値	—	6	—		
			実績値	9	7			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	1	民間認定こども園整備助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	04	02	民間認定こども園整備助成事業

整理番号
202020103

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
課題抽出(CHECK)	<p>①もばら空と杜のこども園 ・「公立保育所・幼稚園整備計画」に基づき、五郷保育所、中の島保育所及び五郷幼稚園の統廃合を行い、民間移管による公私連携幼保連携型認定こども園を整備した。 ・民間移管に伴い、保護者、運営事業者及び茂原市とで構成される三者協議会を設置し、円滑かつ適切な引継ぎや開園後の安定した運営を図るため、協議を行った。 ・園舎の新設にあたり、その事業費の一部を補助した。</p> <p>②ほのおかこども園 ・防犯対策として、門扉の設置及び園地を囲うフェンスの取替を行ったため、その事業費の一部を補助した。</p> <p>③高師保育園 ・保育環境の改善を図るため、経年劣化が見受けられる園舎内の各設備の修繕を行ったことから、その事業費の一部を補助した。</p>	
	必要性の評価	有効性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い
	効率性の評価	
	A: 効率性が高い	
<p>総合評価</p> <p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>もばら空と杜のこども園の整備にあたっては、三者協議会、保護者説明会及び施設見学会等が新型コロナウイルス感染症の影響で十分に開催できなかった。</p>		

事業の方向性		改善・改革の手法
D: 事業終了年度に達した		
今後の方向性(ACTION)	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>私立保育園・幼稚園の認定こども園化については、国が推進しているものであり、本市においても待機児童の解消や、核家族化の進行、共働き世帯の増加による教育・保育ニーズの多様化に対応するため、今後も必要に応じて、認定こども園の整備を行う民間事業者への支援を検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
D	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>施設の安全・安心を確保をすることで、質の高い保育幼児教育の提供に寄与したと認められる。整備が完了したことにより、事業終了は適当と判断できるが、今後とも多様化する教育・保育ニーズに対応するよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
民間保育士処遇改善事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号	202020104
総合戦略整理番号	

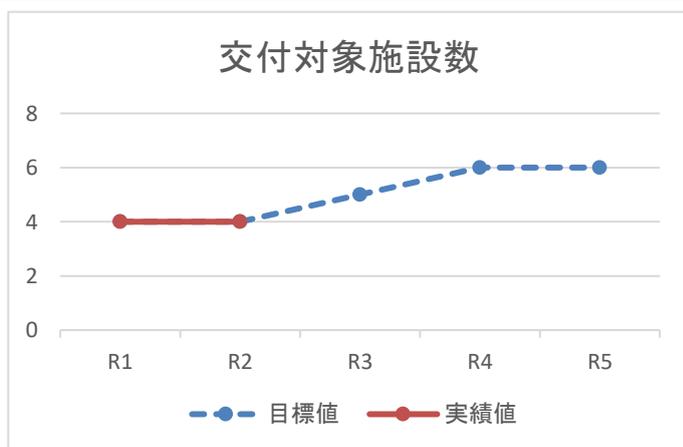
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで、児童の受入枠を確保し、待機児童ゼロの維持及び保育環境の改善を目指す。	千葉県が行う「千葉県保育士処遇改善事業」を活用し、民間保育所等の保育士1名につき月額2万円の処遇(給与)改善を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

保育士の処遇(給与)改善を支援し、民間保育所等の保育士の確保・定着を推進することで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。

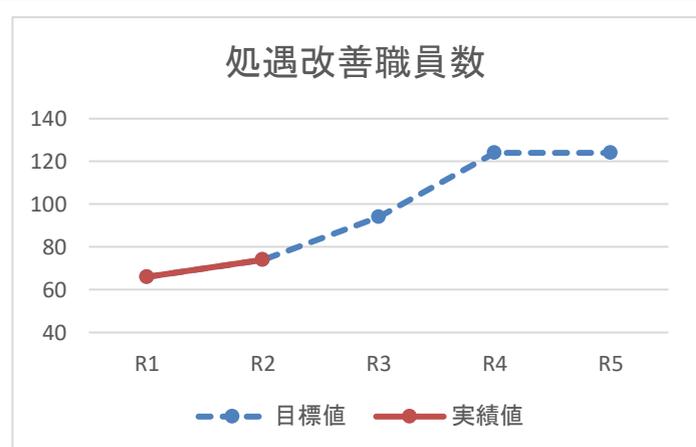
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	22,560	22,560	21,119	27,600					
	国補助	千円									
	県補助	千円	11,280	11,280	10,559	13,800					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	11,280	11,280	10,560	13,800					
	人工数	人		0.15							
	人件費	千円		1,134							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
私立保育所、認定こども園、小規模保育事業者等へ補助金を交付する。	交付対象施設数	件	目標値	4	5	6	6
			実績値	4	5		
成果	成果指標	単位	目標値	74	94	124	124
			実績値	74	115		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	1	民間保育士処遇改善事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	04	私立保育園等運営費補助事業

整理番号
202020104

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
私立保育園、認定こども園、小規模保育事業施設に対し補助金を交付し、当該施設の保育士の賃金改善を支援した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
概ね順調に業務を遂行できているが、次年度以降も待機児童を発生させないこととともに、更なる保育環境の向上を図る必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、保育士の確保・定着の推進のため、処遇改善を実施していく。	
企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 処遇改善を図ることで保育士の確保・定着を推進し、待機児童の解消、保育環境の改善に資する事業と認められる。引き続き実施することで、質の高い保育・幼児教育の提供に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	1	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
公立保育所遊具更新事業					

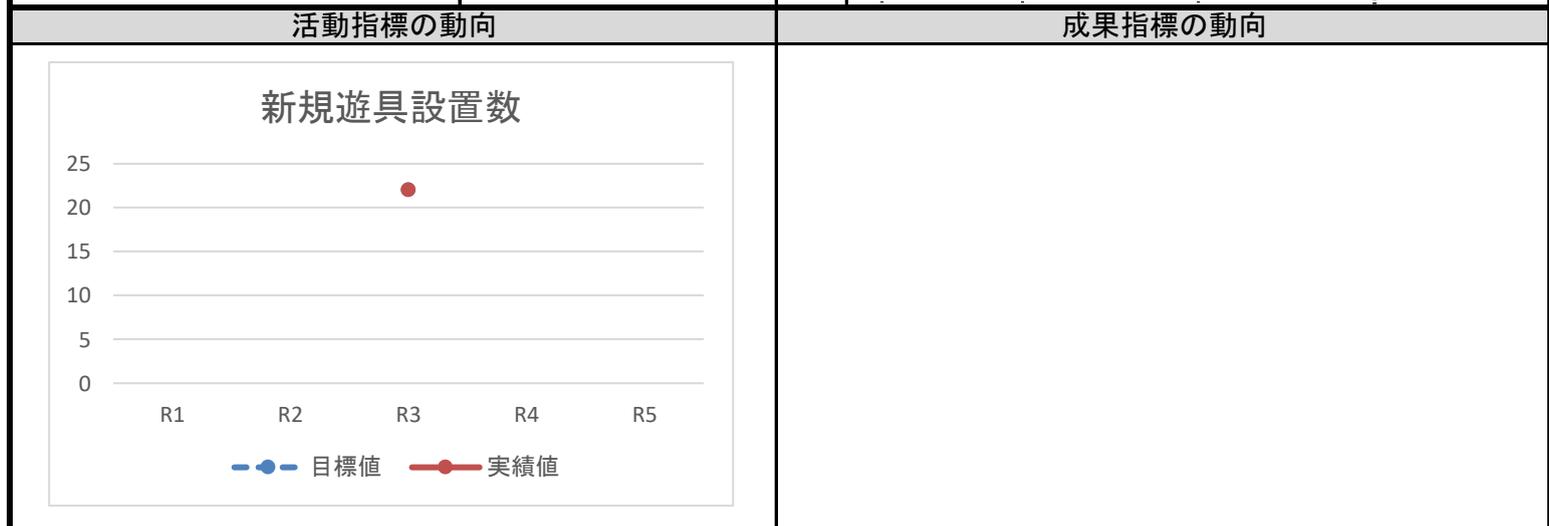
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	04	02	公立保育所維持管理費	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号	
202020105	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 園児たちが周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力や、人と関わる力が養われる。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) ・公立保育所6園の遊具を整備する。 ・公立保育所・幼稚園整備計画で存続する園とした公立保育所6園について、経年劣化等により危険と判定された遊具を撤去したため、新しい遊具を設置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	適切な遊具を設置し、児童が身体を動かして遊べる環境を整えることで施策「質の高い保育・幼児教育の提供」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,777	20,900	19,489						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,777	20,900	19,489						
	人工数	人		0.45							
	人件費	千円		3,403							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各保育所の園庭に遊具を設置または修繕する。	新規遊具設置数	基	目標値	22		
			実績値	22		
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
園児たちが周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力や、人と関わる力が養われる。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	1	公立保育所遊具更新事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	04	02	公立保育所維持管理費

整理番号
202020105

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>地方創生臨時交付金を活用し、6保育所に鉄棒、すべり台、ジャングルジム等の遊具を新設した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>遊具の更新については、経年劣化等の状況を確実に把握し、計画的に予防保全や更新を図っていく必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
D: 事業終了年度に達した	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>年1回程度、定期的に各保育所の遊具を巡回点検するローテーションを作り、現場の保育士にも意見を聞きながら要改善箇所を把握するようにする。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>D</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>本事業は、劣化した遊具撤去・更新をすることで、園児の安全の確保に資する事業と認められる。事業終了は適当と判断できるが、引き続き遊具点検等を実施し必要に応じて対応できるよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	2	2	子育て支援	質の高い保育・幼児教育の提供
実施計画事業名					
放課後児童健全育成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

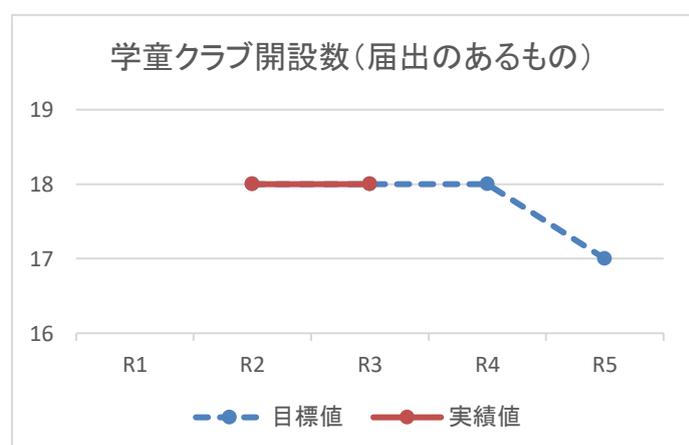
実施計画整理番号	
202020201	
総合戦略整理番号	22307

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図る。	放課後の居場所づくりを行い、遊びや生活の場を与える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し適切な遊びや生活の場を与え健全な育成を図ることで、施策「総合的な子育て支援の充実」に寄与するものである。	

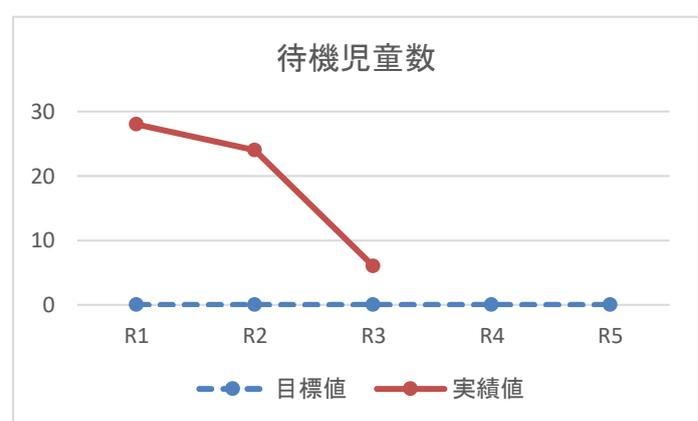
投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	70,199	83,642	71,880	74,758					
財源内訳	国補助	千円	15,704	20,185	19,265	17,273					
	県補助	千円	15,704	20,185	19,234	17,273					
	市債	千円									
	その他	千円	21,765	21,765	19,980	21,765					
	一般財源	千円	17,026	21,507	13,401	18,447					
人工数	人		1.2								
人件費	千円		9,075,600								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
児童クラブの開設数を増やし、受入できる児童数を増やす。	児童クラブの開設数(届出のある児童クラブ)	か所	目標値 18	18	18	17
			実績値 18	18		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
受入できる児童数を増加させることで、待機児童の解消につながる。	待機児童数	人	目標値 0	0	0	0
			実績値 24	6		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	2	2	放課後児童健全育成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	03	放課後児童健全育成事業

整理番号
202020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・通年: 公設学童クラブの運営管理及び施設等の修繕、民設学童クラブへの補助 ・通年: 新型コロナウイルス感染症への対応 ・6～9月 夏期学童クラブの運営管理 ・12月～ 令和4年度の利用調整 ・本納小学校の移設に伴う、本納学童クラブの移設 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・東郷小学校区、豊田小学校区、萩原小学校区など小学校区により、待機児童の発生が見込まれるため、その解消が課題である。 ・公設学童クラブと民設学童クラブでの利用料や運営の格差の是正が課題である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童が見込まれる小学校区については、今後の児童数の推移から、学校施設の利活用や専用保育室の整備などを検討し、待機児童の解消に努めていく。 ・公設学童クラブと民設学童クラブの格差の是正については、利用料について、公設学童クラブの利用料の値上げや民設学童クラブへの補助金の増額を検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>児童の健全育成を図ることで子育て支援の充実に資する事業と認められる。一方で待機児童の解消には引き続き取り組むとともに、利用者の公平性が図られるよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	1	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業	
担当課・係等					
子育て支援課 支援係					

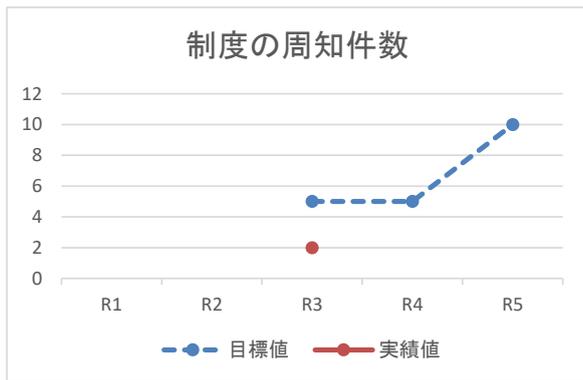
実施計画整理番号	
202030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	ひとり親世帯等に対して、就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の所得を促進するための給付金を支給することで、修業期間中の生活不安を解消し安定した修業環境を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金及び高等職業訓練修了支援給付金の2種類の給付金を支給する。 ・児童扶養手当新規認定時及び現況届受付時に制度について周知する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するための給付金の支給により、生活の安定を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。	

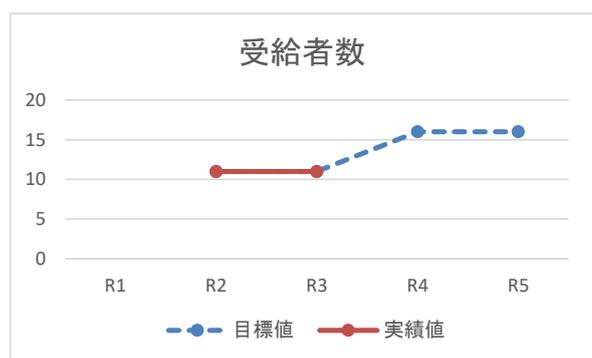
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	10,365	10,375	10,375	11,211				
国補助		千円	7,773	7,773	7,961	8,408					
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	2,592	2,602	2,414	2,803					
人工数		人	0.5								
人件費	千円	3,781,500									

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
児童扶養手当新規認定及び現況届受付の際の制度の周知を図る。	制度の周知件数	件		5	5	10
		実績値		2		
ひとり親世帯等に対し、給付金を支給することで、修業期間中の生活の安定を図る。	受給者数	人	11	11	16	16
		実績値	11	11		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
2	2	3	1	ひとり親家庭福祉事業(高等職業訓練促進給付金)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	03	01	ひとり親家庭福祉事業

整理番号
202030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の認定請求時、現況届出時等にこの給付金のほか、ひとり親世帯等への支援の制度について、周知を行った。 ・支給については、毎月の受講を確認し支給する。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・受講期間が2年程と比較的長いため、実際に給付金を活用する場合は、仕事を辞めて学校に通うこととなることから、新規の利用者の希望は少ない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、受講先の学校が休講になるなど、受講期間が延長になるケースがある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き制度の周知に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の休止等があり受給期間が延長になっている受講者もいる。(休講期間中は給付金の給付はない。) 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当

ひとり親世帯等の安定した就業環境を図る事業と認められる。今後はより効果的な周知方法を検討し、利用希望者への幅広い周知に努めていきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	
担当課・係等					
障害福祉課支援給付係					

実施計画整理番号
202030201
総合戦略整理番号

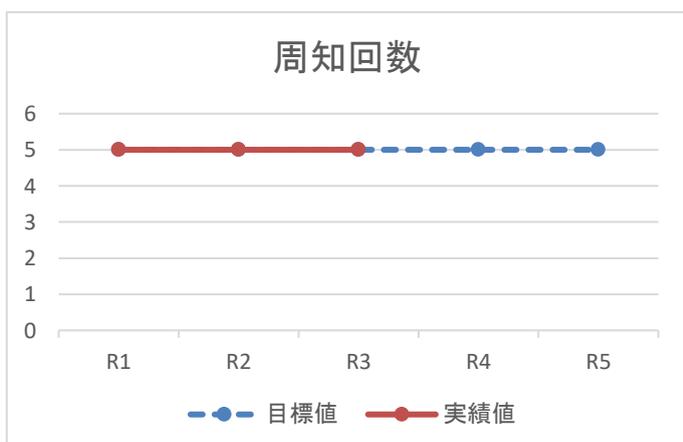
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して、補聴器購入に要する費用の2/3(県1/3、市1/3、耐用年数5年)を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図る。	・広報・市公式ウェブサイト等により制度の積極的周知を図る。 ・対象児の保護者に対し、補聴器購入費を助成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減及び児童の言語能力、学力の向上等を図ることで、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。

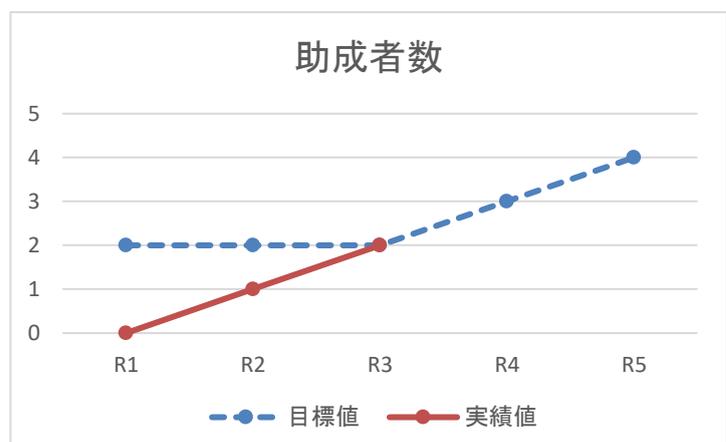
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	288	288	144	288					
	国補助	千円									
	県補助	千円	144	144	72	144					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	144	144	72	144					
	人工数	人		0.03							
	人件費	千円		227							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
補聴器購入費助成制度利用促進のため、積極的な周知に努める。	周知回数	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	5	5		
成果	成果指標	単位	目標値	2	2	3	4
			実績値	1	2		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	3	2	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	02	15	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

整理番号
202030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対して補聴器購入に要する費用を助成することで、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童における言語能力、学力の向上及び日常生活の快適化を図ることができた。また、下記による周知を図ることで2名から申請があり、助成を行った。</p> <p>・市公式ウェブサイトおよび窓口配布している「障害福祉の手引き」に事業内容を掲載。</p> <p>・広報もばらへ制度について掲載。</p> <p>・大網特別支援学校へ啓発案内文を配布。</p> <p>・長生郡市内の耳鼻咽喉科を持つ医療機関に啓発案内文を配置。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>令和2年度、令和3年度と申請件数が1件ずつ伸びてきており、周知の効果があったと考えられる。引き続き事業内容を広報もばらや市公式ウェブサイト等へ掲載することで周知に努め、更なる利用促進を図る必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き事業内容を広報もばらや市公式ウェブサイト等へ掲載することで周知に努めるとともに、より効果的な事業周知方法を検討し利用促進を図る。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、配慮を必要とする子どもや家庭への支援に資する事業と認められる。引き続き、SNS等も活用するなどより効果的な周知方法を実践することで、利用促進につながるよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
療育支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	08	療育支援事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

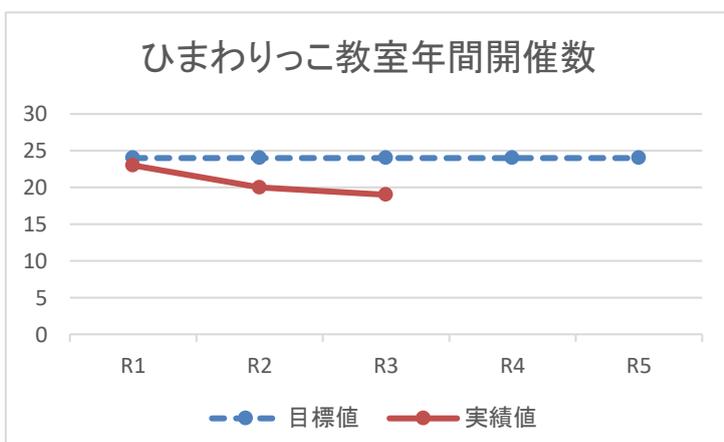
実施計画整理番号	
202030202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	発達の遅れのある、または心配される幼児の健やかな成長及び保護者の育児不安の解消により、適切な子育て環境が整えられるよう支援を図る。	月2回、ひまわりっこ教室を実施し、親子のふれあいや遊びを通じ、保護者の思いを聞きながら、相談や情報提供を行う。また、予約制による「ことばの相談」や「子育て相談」を実施し、個別相談支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
発達の気になる子どもに対して、その特性を早期に発見し、適切な支援につなげ、育てにくさを感じている保護者のストレスを緩和することにより、児童虐待の防止につながり、施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。		

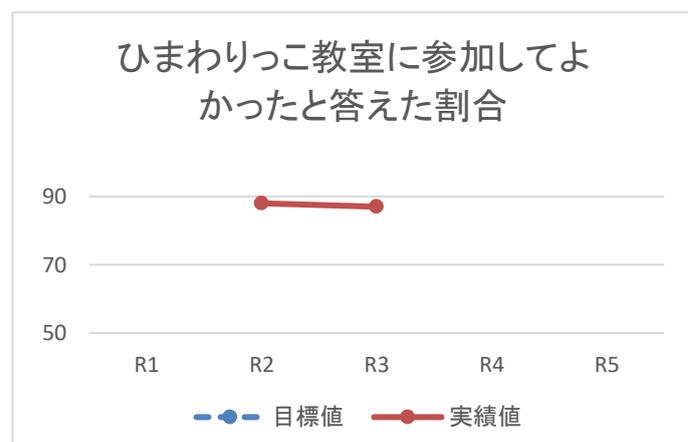
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	2,128	2,128	1,761	2,128				
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	2,128	2,128	1,761	2,128					
人工数	人		0.7								
人件費	千円		1,987								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業等を通じて、発達の遅れや軽度の発達障害が心配されるお子さんを把握し、積極的に本事業を紹介する。	ひまわりっこ教室 年間開催数	回	目標値 24	24	24	24
		実績値 20	19			
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
対象児童が、継続して事業に参加することにより、良好な育成及び保護者の育児不安の解消につなげる。	ひまわりっこ教室 参加者アンケートで「参加してよかった」と回答した割合(10段階中7以上)	人	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値 88	87			

活動指標の動向



成果指標の動向



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	3	2	療育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	08	療育支援事業

整理番号
202030202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・ひまわりっこ教室では、幼児健診等で発達の遅れや軽度の発達障害が心配される児童を対象に、発達を促す遊びや接し方や話し方、また保護者が楽しく子どもと遊ぶことで育児不安や育児ストレスの緩和につながるように事業を実施した。</p> <p>・子育て相談では、子育てやしつけ、発達などに心配を抱える保護者の不安の解消を目的として、臨床心理士による相談を実施した。</p> <p>・ことばの相談では、ことばが遅い、うまく発音できない、吃音などに関する心配を抱える保護者への支援の一環として言語相談員による相談を実施した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・発達に障害があることを受け入れられない保護者に対しては、事業へ参加することの有効性を理解してもらうことが重要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・ひまわりっこ教室では、幼児健診等で発達の遅れや軽度の発達障害が心配される児童を対象に、ひまわりっこ教室を月2回開催し、親子のふれあいや遊びを通じて、保護者の思いを傾聴しながら相談や情報提供を実施する。</p> <p>・予約制にて子育て相談やことばの相談を実施し、個別での相談支援を行い、子育てやしつけ、発達などに心配を抱える保護者の不安の解消に努める。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>保護者の育児不安の解消を図る事業と認められる。引き続き、利用者のニーズを的確に把握し、相談・支援体制を整えるとともに、より効果的に情報発信することで、一人でも多くの保護者の育児不安が解消されるよう努めていただきたい。</p>

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
2	2	3	2	子育て支援	配慮を必要とする子どもや家庭への支援
実施計画事業名					
養育支援訪問事業					

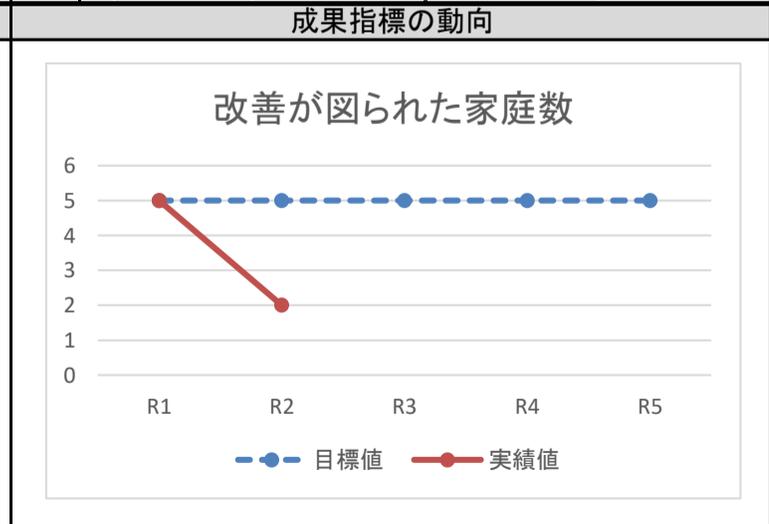
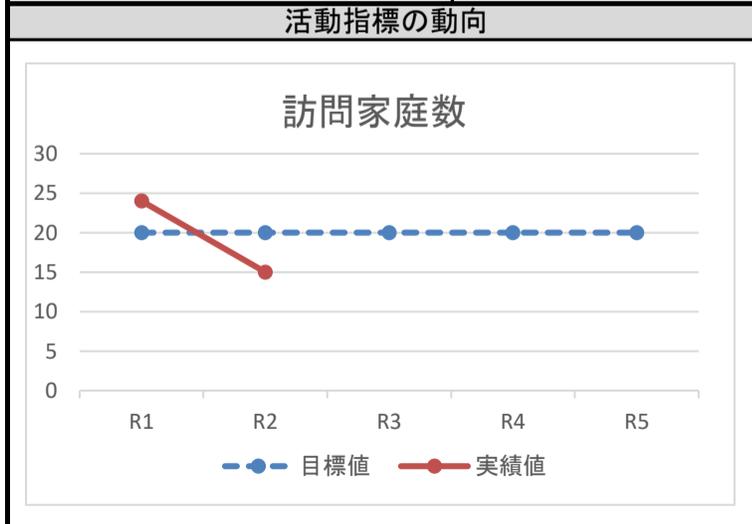
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	01	10	養育支援訪問事業	
担当課・係等					
子育て支援課 子ども家庭相談室					

実施計画整理番号	
202030203	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>養育支援が特に必要な家庭に対して、その家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、適切な児童の養育ができるように支援する。</p>	<p>対象となる家庭に対して、開始前と終了時に関係機関と個別の支援会議を開催し、適切な支援が行えるように努める。また、適切な養育指導の実施のため、訪問支援員へ研修を行い、技能の向上を図る。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>保健センターの幼児健診や赤ちゃん訪問事業により把握した保護者への養育支援が特に必要と思われる家庭に対して、保健師・看護師・保育士が家庭を訪問し、養育に関する相談、指導、助言を行うことにより、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につながり、ひいては施策「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,369	1,369	614	1,369					
	国補助	千円	456	456	204	456					
	県補助	千円	456	456	204	456					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	457	457	206	457					
	人工数	人		0.3							
人件費	千円		2,269								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
関係機関や市保健センターの健診等を通じて養育支援が必要な家庭を把握し、適切な支援の実施に努める。	訪問家庭数	件	目標値 20	20	20	20
		実績値 15	10			
	延べ訪問回数	回	目標値 200	200	200	200
		実績値 146	111			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
養育支援が必要な家庭の養育環境を改善することで、児童虐待の防止につなげる。	改善が図られた家庭数	件	目標値 5	5	5	5
		実績値 2	3			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
2	2	3	2	養育支援訪問事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	01	10	養育支援訪問事業

整理番号
202030203

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・赤ちゃん訪問事業の実施結果や関係機関からの連絡等により、育児不安が強い、育児手技が未熟などで養育支援が必要であると判断した家庭に対し、専門的相談支援を実施した。
 ・実施するにあたり関係機関でケース会議を開催し、支援目標や支援内容、支援機関について協議を行い取り組んでおり、必要に応じて他の支援機関へつなげるなどの支援を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

関係機関からの情報提供により、養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、訪問での指導や助言を行ったことにより、安定した児童の養育が行え、児童虐待防止につながった。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、今後も関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、適切な支援を実施する。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 支援員による家庭訪問は、家庭の養育環境の把握・改善につながる事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図り、支援が必要な家庭の早期発見・支援に努めていただきたい。